

日 時	2015 年 12 月 22 日（火） 10：00～12：00
出席者	資料参照（欠席：吉田委員、武田委員）、アルパック：3 名
議 題	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 1）中井町人口ビジョン素案について（資料 1） 2）中井町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について（資料 2、2－1） 3）中井町人口ビジョン・総合戦略策定に向けたスケジュールについて（資料 3） 4）その他 4 その他
議 事	●座長、○委員、◎事務局 1 開会
事務局	◎権守企画課長より開会のあいさつ
座長	2 座長あいさつ ●杉本座長より挨拶
事務局	3 協議事項 協議事項（1）中井町人口ビジョン素案について ・事務局より資料 1 の説明 ◎ 17 頁、県の人口推計が 11 月に変わり、平成 32 年の合計特殊出生率が 1.50 から 1.42 になっているが、これまでの戦略みらい会議での議論から将来目標人口については 7,000 人で概ねの合意をいただいているため、注釈をつけてそのままとしている。 【協議】 ・意見なし
事務局	協議事項（2）中井町まち・ひと・しごと創生総合戦略素案について ・事務局より資料 2、2－1 の説明 ◎前回お示しした 14 プロジェクト、34 の具体的施策から、前回の戦略みらい会議での意見、庁内会議での検討等を踏まえて、8 プロジェクト、21 の具体的な施策に絞り込み・集約。
座長	【協議】 ■戦略 1－1 ◎ブルックスさんの名前があがっていますがいかがですか。
宗形代理	○ブルックスに入社してから間がないので、生産ラインや商品開発等についてはまったくわからないのですが、現在、大井事業所を未病に取り組む拠点と位置づけて取り組んでいる。中井町でも未病の視点から取り組みたい。昭和薬科大学の佐竹先生の話によると、中井町には漢方・生薬の歴史のある店舗があったそうです。漢方薬に関しては古くからの歴史がありそうなので、商品開発をし、市内の農家さんには原料となる生薬の栽培を契約農家という形でお願いすることなども視野に入れながら、未病を治すということに積極的に貢献したいと考えていますので、ご協力をいただければと思っています。
座長	●地方創生はあと 4 年で成果を出さないといけない。分科会等をつくって進めていっていただける

	といいと思います。 1-1-2の方はどういうプレイヤーを想定しているのでしょうか。
事務局	◎先行型ではヘルシーメニューを開発し、企業の社員食堂など提供するような事業が採択されているので、農産物の加工品等を社員食堂等で提供することなどを通じてPRができればと考えています。また町内の店舗や直売所でも販売することを考えています。
座長	●社員食堂はどのように運営されているのですか。
大槻委員	○まるごと委託はしていますが、協議しながら運営しています。
座長	●誰が、どうやってやるのかですね。マーケティングが得意な方、どう進めたらいいかわかりますか。SNSを使った情報発信に長けた若い女性に中井町の魅力を発信していただくこともあるのではないかと思います。また、子育て中の母親と連携して情報発信をしていくということも考えられます。町内にいなければ町外の人でもいいと思います。男よりも女性の方が口コミを含めて情報発信力があります。そうしたことも戦略に入れておいてもいいかもしれない。
事務局	KPIの設定はこれでいいのでしょうか。例えば1-1-2の指標はSNSを立ち上げて「いいね」のクリック数を目標とした方がいいではと感じます。販売施設数はハードルが高いのではないのでしょうか。情報を出してそれにどのように反応してくるのが大事だと思います。専門家を入れて検討してみたらどうでしょうか。
瀬戸委員	
座長	◎ブルックスさん、テルモさんにはまた別途ご意見いただきたいと思います。
瀬戸委員	○若い人の間ではフェイスブックなどで情報が流通しています。おっしゃるようにインターネットを使わない手はないと思います。ネットワークを通じて意外な人が中井を知っている可能性があり、無視できないと思います。
座長	●ブランドという農産物などの物品に目が行ってしまいが、「人」も資源なので、それを情報化していくと面白いと思います。
瀬戸委員	○先日も中井町のお店がテレビで紹介されましたが、すぐに色々なところからお客さんが来ています。反応がよい動きが早いようです。継続できるものであれば効果が出てくると思います。
座長	●人にお客さんがついてきますから、人となりは大切です。三島に「村の駅」という民間企業が経営している道の駅的な施設がありますが、すべての野菜に生産者の名前がついていて、名前で野菜が売られています。
大塚委員	
宗形代理	○中井町でもブドウをつくっている農家があり、遠くからも買いにきているという話をきいたことがある。そうした情報がインターネットに乗れば広まっていくのではないかと思います。中井にはいい農産物ありますが、一般の消費者が知る機会がまずありません。生産者も知らせるすべがない状況で、ほっておくとなくなってしまう恐れがあります。
座長	●情報をこまめに取材してアップロードしていくことが問題ですね。新聞社やタウンニュースさんで扱っていただくことはできるのでしょうか。
柏手委員	○問題ないのではないのでしょうか。
大塚委員	○新聞ではニュース性がないと記事にはしにくい面があります。この場合は継続して発信していくことが必要なので、SNSなどの方がいいのではないのでしょうか。
宗形代理	○小田原に住んでいて、家の近くに農協が運営する「ドレミファーマー」という地場野菜の販売所がありますが、やはり拠点となるお店が必要だと思います。自分もそうですが、ネットには極力触りたくないという高齢の男性は多いと思います。ドレミファーマーは土日は買い物客で渋滞が起こるほど人気があります。販売拠点があれば生産量が少なくても販売できるという農家側のメリットもあります。
座長	●インターネットはバーチャルなのでそうしたリアルな拠点も必要だと思います。
瀬戸委員	○中井にも物産の販売所があり持ち売りでやっています。開店前から人が並んでおり、午前中はレ

宗形代理 真壁委員	ジが行列になっていることが多くなっています。量がないためいいものは早く売れてしまい、午後はすいていますが、行くと色々な問題点がわかります。お店を出せばいいというものではありません。近隣でも色々な直売所があり、色々と研究することが必要だと思います。 ○色々な販売所に行ってみて自分なりに考えてみたいと思います。 ○1-1-2で、「町内の民間企業への提供」とありますが、これは単発的なもの、継続的なものどちらを考えているのでしょうか。社員食堂で使う食材は驚くほど納入単価が安く、長期的に食材を提供しようとするると単価面で難しいと思います。実際に取り組むには契約されている食堂の運営会社も巻き込む必要がありますが、契約会社も切り替わることがあるので気をつけないといけないと思います。
座長	●農業公社的なものを作る考えがあるのでしょうか。製品の安定供給と安全・安心の確保は必ず必要になります。普通のおいしいやさいということだけでは差別化できないので、有機栽培などに取り組むことも必要ではないでしょうか。
柏手委員	○中井には飲食業の組合はあるのでしょうか。1-1-1については、食材を提供して町内で食べられる場がないのであれば、プラットフォームをつくり、そこをSNSなどでPRすることで、外から人が来てもらえるようにしていかないとだめなのではないでしょうか。
宗形代理	○私も同感です。「みずほ野」という地場の有機野菜を全面を打ち出した食堂が郊外にあり繁盛しています。社員食堂で高いものを理解して買ってくれるということを期待するのは無理だと思います。自社農場で生産したものを使うということはあるが、高いものを買ってくるということはないと思います。食べる方も、いいものを週に1回程度食べにいくということはあるとしても、毎日食べてくれるかというそれは難しいと感じます。
座長	漢方薬についても、中国から輸入する原料は非常に安いのが現状です。先程、契約農家といいましたが、採算が合うかという非常にハードルが高いと思います。薬草などを使った商品開発はしたいと考えていますが、価格面でどう折り合いをつけるかは非常に難しいと感じています。
座長	野菜の話にもどすと、中井の特産品を食べてもらう場所というのは絶対に必要で、町内でそれらが食べられる店舗を探すか、新たに作るかすべきだと思います。
座長	●お店で出すということであれば、生産組合のようなものを作ってお店専用栽培するという体制を作っていないと、売の商品がないという状態にもなってしまうし、大きな経済効果も生まれません。本気でやるのかを決断することが必要だと思います。町としてもどこを狙っていくのかを検討していく必要があると思います。
及川委員	■戦略1-2 ○農協ですが、新規就農者については、町の環境経済課と連携しながら何軒か支援しており、これからは継続的に実施できればと考えています。営農指導については農産物ごとに各部会があり、部員と一緒に営農指導等を行っています。農業機械の貸し出しは町で実施していると思うのですが、農業機械は使用する時期が各農家で同じになるため貸し出しの支援は難しいのではないかと考えています。
座長	●耕作放棄地対策については書かれていませんが、何かないのですか。
事務局	◎有休農地を使って新規就農者を対象とした体験農園などとして活用できればと考えています。
瀬戸委員	○目的をどうするのが重要だと思います。趣味としての農業体験とプロとしての農業ではまったく内容が変わってきます。そこを明確にしてサポート体制をつくらないといけないと思います。
座長	農業で採算をとって経営していくのは大変です。また機械の貸し出しは難しいということでしたが、今の農家は小さな農地の割に大きな農業機械を持っています。機械のパワーとしては余っている。うまく調整できればケースによっては支援できる可能性はあると思います。

宗形代理	○小田原市は新規営農者への支援に関して先進的な取組をしているという話を聞いたことがあるのですが何かご存じですか。
瀬戸委員	○詳しくは聞いたことはありません。
宗形代理 座長	○町でも小田原市に聞いてみて研究してみたらどうでしょう。 ●小田原市で放置みかん園を何とかしようということで、東京のNPOを紹介したことがあります。そのNPOが援農というスタイルで畑を再生しているプロジェクトになっています。NPOが頑張り、地元とも連携して、片浦レモンサイダーというブランドも作っています。そのNPOは企業のCSRの予算をうまく使って、市外からバスで来た人が午前中に援農して、午後は食事をしながら勉強もして帰るというプログラムで実施しています。そのためにはそうした面倒を見てくれるNPOが必要になります。
瀬戸委員 座長	○鎧塚ファームもそうした仕組みですね。 ●そうですね。
河井委員	○新規就農者の支援については、先程、瀬戸委員がおっしゃられたように、職業としての農業をする人を集めるのか、若者やシニア層を対象として、他に収入の道があって農業も身近にできる暮らしを実現したい定住者を集めるのかという、目的をはっきりさせないと中途半端になると思います。新規就農者がこれから農業で500～1000万を稼ぐことができるのか、それとも、中井町では比較的簡単に作物が栽培できるので、機械を借りたり、援農で助けてもらいながらプラスアルファとしての農業ができるというのでは、取組内容が違ってくると思います。
瀬戸委員	○1-2-2のKPIで新規起業家5社となっていますが、5つのNPO法人を作ることが目標なのでしょうか。
事務局	◎NPOも含めて起業する法人が5社ということです。
瀬戸委員 事務局	○農業体験を支援するNPOが5つあるということですか。 ◎ここは農業の話とは別に、新たに事業を起こす企業が5社ということを目指しています。NPOの話をする、現状として中井町NPOが2つしかないため、NPOの設立支援なども視野に入れた中で、地元金融機関などと連携しながら進めていけばいいと考えており、ご協力いただければと思っています。
座長	●NPOの設立支援ということであれば、起業セミナーなどではなく、子育て中のお母さんたちが活動できる場を提供して、それを自らが運営していくといったことを社会実験的にいくつか仕掛けてかないと、セミナーをやっても人は来ないと思います。町外のNPOの協力を得ながら社会実験をしていくといった手法をとらないといけないと思います。そうしたコーディネート機能が重要になります。社会実験はやるべきだと思います。実験を通じてNPOが育てばそれが様々な活動の運営母体にもなっていくでしょう。
真壁委員 事務局	■戦略2-1 ○2-1-3のKPIですが、スポーツ実施率50%とした根拠はなんですか。 ◎町で実施したアンケート調査で現在のスポーツ実施率が約25%だったので、倍増を目標としたものです。
真壁委員	○2-1-1について、スポーツ交流人口の増加という視点からは、大学もあっていいが、大学スポーツは強豪校同士のイベントでないと集客は期待できません。子どもをキーワードに、小中学校、スポーツ少年団などを入れるべきでしょう。子どもがくれば親や指導者もついてきます。記述はもう少し幅を広げたほうが、確実にリピーターにつながります。また、これらの人が中井を訪れることで野菜を購入したりとい波及効果も期待できます。 2-1-2のスポーツツーリズムはすごくいいと思うのですが、問題は宿泊先がないことです。

座長 事務局	夏休みになると東京近郊の少年団などは合宿先がなく苦勞しています。比較的近い場所でグラウンドがあり、全体の費用が安いことがポイントになります。宿泊は施設である必要はなく、テントを張ることができる場所があればいい。テントをレンタルして、炊事、シャワー等の設備、トイレ、配水かできればそれで十分です。常設である必要はありません。シーズン中だけでいいのです。子どもの合宿の場合、スポーツをする時間は全体の 3 分の 1 くらいです。それ以外は遊びの時間で、沢遊びやピザづくりなどとパッケージ化しないと今の子どもは長続きしません。中井であれば体験農業なども組み込めるのではないのでしょうか。 ●それではそのような形で修正してみてください。 ◎そうさせていただきます。
柏手委員	■戦略 2－2 ○W i e F i を町内に設置することはできますが、誰でも使えるようにすると、それが犯罪に使われるなどのリスクも発生します。セキュリティの問題もありますが、ログ等もとるようなくみにする必要があります。屋内でも屋外でもW i e F i は設置できますが、W i e F i で電波を飛ばせる距離は100m程度なので、町の全域カバーしようとする何百か所の拠点が必要になります。そのため、屋外に設置するとW I M A X、地域P W Fなどの別の規格になると思います。W i e F i は非常に手軽で、端末にもW i e F i は入っているので、接続される確立は高い。地域P W Fでは専用の受信端末からW i e F i につなぐようになり、その端末をどのように配布するのかという問題が発生します。何の目的で、どこまで整備するのかを決めることが重要だと思います。
座長	●湯河原町でも設置していますが、設置したのは観光スポットだけで、面的にやるのは難しいと思います。
柏手委員	○全域をW i e F i でというのは難しいと思います。ここは物理的な問題なので、目的とK P I をどうするのかという検討だけだと思います。
座長 柏手委員	●コンテンツをどうするかという問題もあると思いますが。 ○イムレスというオンラインゲームがあり、岩手県や横須賀などで観光目的で使われています。グーグル初の位置情報を使った陣取りゲームのようなもので、コストもほとんどかからないので、そうしたものを導入して、活性化の起爆剤にすることもありだと思います。後は情報発信をどうするのかということですが、これは現在ホームページでもやられているでしょうから、S N S やフェイスブック等を町内や外部の人などが、役割分担をしながら発信していくということだと思います。外部の人から「いいね」がつけば後はネットワークで拡散していきますので、そこまでが勝負だと思います。
座長	●イベントナビという無料サイトがあります。テーマが分かれており、小学校の運動会からオリンピックまで、さまざまなイベント情報が無料でアップロードでき、意外と見ている人が多い。ゼロから立ち上げるのは大変なので、こうしたものも活用していくかもしれません。
河井委員	○イムレスは東村山市が積極的にやっていますが、一時的なにぎわいはある程度創出できても、お金を落とす人がこないという話を聞いています。どう誘導していくかということでしょう。コンテンツについては、広く全体にでは情報が刺さらないので、誰に情報を伝えるかを明確にしたほうがいいと思います。中井町ではスポーツなどに限定した方がいいのではかと思っています。「いいね」をしても関心のないものは読まないで、記事全体の「いいね」の数ではなく、記事のシェアをとるなどの評価もありえるのではないかと思います。 時間が延びそうなので先に言っておくと、4-1、4-2 のシティプロモーションに関して、中井町を知ってもらう対象は、全国なのか、首都圏や静岡県などの近隣だけでいいのかを明確にしない

座長	といけないと思います。本当に沖縄の人に中井町を知ってもらう必要があるのかはよく考える必要があると思います。地域的なセグメント、年齢や性別などのセグメント、関心のセグメントなど対象を明確に決めて取り組まないと大変になると感じます。 ●情報に関してはまたヒアリングをさせていただくのでよろしくお願いいたします。
河井委員	■戦略3-1 ○3-1-4のKPIが資料2では2社、資料2-1では1社になっているがどちらが正しいのでしょうか。
事務局	◎1社が正しいので修正をお願いします。
座長	●これは企業にやってもらうということですか。
事務局	◎子育て世帯が子育てしやすい雇用形態を町から働きかけて企業に導入していただき、中井に住めば仕事と子育ての両立がしやすいということをアピールできればと考えています。
大槻委員	○テルモでは男性も育児休業を必ず取るように勧めているなど、会社としてはすでに様々な制度を導入しています。ただし、中井町に住んでいる人だけを対象とした特別なインセンティブがあるかという、それは制度設計上難しいと思います。余談ですが、最近の傾向として、神奈川県の方で労働力を確保できるのかという問題があります。横浜のベイエリアの開発で労働力がそちらに流れています。オリンピック需要が本格化するとさらに首都圏に人が流れることも懸念されます。実際に求人をして人も集まらず、大変だと感じている。
小清水委員	○3-1-2については、あったらいいと率直に思いますが、「小学校卒業時までの期間」となるがなぜなのでしょう。中学生の反抗期などで悩む保護者なども多いと思います。
事務局	◎義務教育終了までの間違いなので修正いたします。
座長	●はじまりも出産からではなく、妊娠した時点からにしたほうがいいと思います。
河井委員	○このハンドブックを上手に使うコーディネーターは必要ないのでしょうか。
事務局	◎ハンドブックは、母子手帳を取りにきた時にあわせて配布し、ネウボラで保健士さんなどから説明していただくことを想定しています。
河井委員	○母子保健コーディネーターということではその形でいいと思いますが、中学生までを対象とすると、母子保健コーディネーターは中学生とは関係がありません。民生児童委員などかもしれませんが、小中学生を対象としたものも考えることが必要ではないのでしょうか。また順調に育っていく子どもばかりではありません。障がい、虐待、育児放棄など様々な問題があり、困っている時にハンドブックを開くということにはならないのではないかと思います。そうした場合はしかるべき場所に相談するわけで、その時に相談される側が情報を持って必要なところにつないでいけることが必要なのではないかと思います。コーディネーターとなる人材の育成をあわせて考えていかないといけないのではないのでしょうか。
座長	●これもNPO活動の場になると思います。これを職員でやるのは大変なので、子育てママのグループで相互に支え合うというしくみなどと一緒にできるといいと思います。
河井委員	■戦略3-2 ○3-2-2のKPIについて、これは「おせっかいおばちゃん認定証」などを町が出すということなのでしょう。考え方はよくわかるし、いいことだと思いますが、KPIの設定の仕方がよくないのではないかと。今でも5人くらいいるのではないのでしょうか。
事務局	◎認定のようなくみは必要になると考えています。
河井委員	○認定を受けたい人が申請して、それに対して認定するのですか。それとも一方的に認定するのですか。KPIは進捗を管理するための指標なので、どうやって数えていいのかわからなものを指

柏手委員	標にするのはよくないと思います。 ○3-2-2に関しては、転出しても中井町と関係が切れないようにするというのが目的で、そのために何をやるのかという視点が必要ではないでしょうか。平塚、大磯、二宮では、三十路式といって30歳の時に集まるイベントを実行委員会組織で実施しています。30歳は結婚もし、また中井に戻ってもいいかなということを考える年代でもあるので、そうした場を提供するのはいいことだと思います。
事務局	◎三十路式については、何人参加されているかはわからないが、中井町も入っています。町としてもどのような支援ができるかを考えていきたいと思っています。
柏手委員	○すでにやっているならうまく活用したほうがいいと思います。
瀬戸委員	○民生委員などが関係してもいいのではないのでしょうか。
座長	●事業名称は「中井暮らし応援隊」みたいなものの方がいいかもしれません。転入してくるときにはおいしいパン屋やコーヒー屋などの情報も欲しがられていたりします。それらを総合的に紹介、サポートすることで、中井暮らしを応援するというようなものの言い方の方がいいかもしれません。
事務局	●職員の間でも「おばちゃん」という表現には抵抗があったので再考したいと思います。
河井委員	○取材はされやすそうではありますが。
河井委員	■戦略4-1 ○4-4-1のKPIが「愛着」となっていますが、最近のプロモーションでは、「推奨」ということが言われており、愛着からさらに、外に向けてうちの町が「いいよ」といつてくれる人を増やすことが重要視されています。「推奨」とすることを検討したらどうでしょうか。
事務局	◎プロモーションについては、大学生の力を借りて展開していきたいと考えていますので、ご相談させていただきたいと思います。
河井委員	○来年度からプロモーションで本格的に入っていきますが、逆にプロモーションを進める立場でみなさんにご協力をいただくこともあるのでよろしくお願いいたします。
座長	■戦略4-2 ●オンデマンドバスで子どもたちを競技場に運ぶということができるのですか。運行は1台ですか。
事務局	◎2台で運行しています。利用者を限定せず全町民が利用できるものなので問題ありません。
座長	●全体を見ましたが、また町からみなさんの方にご相談にいくことがあると思いますのでご協力をお願いいたします。
事務局	協議事項（3）パブリックコメントの実施について ◎12月24日からパブリックコメントを実施します。パブリックコメントで頂いた意見について、この場で意見交換をしたいと思っていますので改めて日程を調整させていただきたいと思います。
瀬戸委員	協議事項（4）その他 ○第3回のまちづくりカフェで、カフェで出された意見が計画にどのように反映されるのかという意見がありましたが、どのように考えているのでしょうか。
事務局	◎第4回のまちづくりカフェでは、頂いた意見をどのように計画に反映すべく検討しているのかについて報告したいと考えています。

	次回第5回日程 2月2日(火)午後1時30分～開催予定
--	-----------------------------